

<p style="text-align: center;"><b>歴 史Ⅱ （ HistoryⅡ ）</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>3 年 ・ 通 年 ・ 2 単 位 ・ 必 修</b>  <b>電 気 工 学 科 ・ 担 当 桑 原 英 之</b></p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1)</p>		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>グローバル化した現代社会の中で生きていく上で、世界史についての知識は必要不可欠のものとなりつつある。この授業では、世界史を学ぶことを通して、人類登場から数百万年という途方もない年月の流れの中で現在の私たちを理解し、現在の日本にいる私たちとは価値観も世界観もまったく違っていった人々について想像力を働かせる力を養うことを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>歴史の学習で大事なことは、なぜ過去にそのような出来事が起こったのか、歴史的背景をしっかりと捉えて理解することである。したがってこの講義では、その地域と時代にどのような制度、文化、社会、宗教があったのかを踏まえることで、歴史的事実を点としてではなく、複眼的視点で立体的に捉えてながら、近代主権国家成立までの歴史の流れを理解する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布するプリントは必ず各自ファイルすること。定期試験勉強で必要となる。</li> <li>・ 現代日本にいる私たちも世界の歴史と連動していることを意識する。</li> <li>・ 現在の世界の動きや情勢にも敏感であってほしい。</li> </ul>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>前期中間試験：先史時代の理解、古代オリエント文明、古代ギリシア文明成立を理解する。  前期末試験：古代ローマ文明、古代インド文明、古代中国文明成立を理解する  後期中間試験：東アジア・内陸アジア世界形成、イスラーム世界形成を理解する  学年末試験：ヨーロッパ世界の形成、近代ヨーロッパ世界の成立を理解する</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験成績（80％）＋レポート点（20％）</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>「高校世界史 B」，山川出版社，著者；佐藤次高・木村靖二・岸本美緒</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>「明解世界史図説 エスカリエ 四訂版」 帝国書院  「補助教材：配布プリント」</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>「地理」「歴史Ⅰ（日本史）」「政治・経済」と関連が深い。</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	先史時代	人類の生物学的進化の過程と文化の発展について説明する。	
第2週	古代オリエント文明1	メソポタミア・エジプト両文明の成立と相違点について説明する。	
第3週	古代オリエント文明2	インド＝ヨーロッパ語族系民族の展開について説明する	
第4週	ギリシア文明	ギリシア文明とポリス社会成立について説明する	
第5週	ギリシア世界2	ギリシア民主政の歩みを説明する。	
第6週	ギリシア世界3	ペロポネソス戦争の意義とギリシア文化について説明する。	
第7週	共和制ローマ	ローマ世界成立と共和制について説明する。	
第8週	帝政ローマ	帝政ローマの展開と仕組みを説明する。	
第9週	キリスト教の成立と発展	キリスト教の成立とその後の展開を説明する。	
第10週	インド古典文明	インド古典文明の成立について説明する。	
第11週	古代インドと宗教と文化	仏教、バラモン教、ジャイナ教の成立と展開を説明する。	
第12週	インドの王朝と東南アジア	インドの王朝と東南アジアの文明を説明する。	
第13週	中国の古典文明	中国の古典文明と殷、周の成立までを説明する。	
第14週	中国の古代国家	春秋戦国時代から漢の成立までを説明する。	
第15週	中国の古代思想	儒教、老荘思想などの中国思想について説明する。	
前期期末試験			
第16週	中国の分裂	諸民族の侵入とそれにもなう中国の分裂について説明する。	
第17週	宋の中国統治と朱子学	宗の成立と朱子学の意義について説明する。	
第18週	空前の大帝国	チンギス＝ハンによるモンゴル帝国と元の成立について説明する。	
第19週	イスラム世界	イスラム帝国成立と諸王朝の展開について説明する。	
第20週	イスラム教	イスラム教の成立と海外伝播について説明する。	
第21週	ヨーロッパ世界の成り立ち	ゲルマン人大移動と東西ローマ分裂後のヨーロッパについて説明する。	
第22週	フランク王国	フランク王国の成立と分裂と、叙任権闘争について説明する。	
第23週	東ヨーロッパ世界	ビザンツ帝国の展開と文化について説明する。	
第24週	十字軍	十字軍の意義と聖地の意味について説明する。	
第25週	西ヨーロッパの変動	十字軍以降の教会の凋落と諸国の展開について説明する。	
第26週	大航海時代	レコンキスタ以降の海外展開の意義を説明する。	
第27週	ルネサンスと宗教改革	中世から近世・近代へと移り変わる転換点の意義を説明する。	
第28週	主権国家の形成	宗教戦争が社会変革へとつながっていく過程を説明する。	
第29週	主権国家の展開	ピューリタン革命と議会政治の成立について説明する。	
第30週	16世紀以降のアジア	オスマン帝国、ティムールなどトルコ、南アジアの動きを説明する。	
学年末試験			

\* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)